



 今金米
初出荷!

『今金男しゃくポテトチップス』

今年は新味登場で 3 種類！

日本一の清流と大地で育った幻のじゃがいも

今金男しゃくポテトチップス



毎年ご好評を頂いております「今金男しゃく」を100%原料として使用した贅沢なポテトチップスが、今年も10月下旬に発売されることとなりました。3年目を迎えるこの商品、湖池屋の代名詞とも言えるこれまでの【のり塩】味に加え、「今金男しゃく」本来の風味をより感じることが出来る【うま塩】味もラインナップに加わります。昨年一新されたパッケージは、金色に輝くさらにゴーギヤスな装いで販売をさせていただきます！

購入は湖池屋オンラインショップ『ポテトチップス 今金男しゃく』特設ページでお申込みいただくか、Aコープいまかね店でも販売いたします。

さらに・・・湖池屋が今年2月に販売を開始し人気を博している『PRIDE POTATO(プライド ポテト)』シリーズとして「今金男しゃく」を使用した『今金男しゃく 幻の芋とオホーツクの塩』が150万袋の数量限定で同じく10月下旬に全国のコンビニエンスストアで発売されます。

数量限定での販売となりますが、ご家族で味わって頂くのはもちろんのこと、お土産などとしても是非ご利用下さい。

宮城全共閉幕

北海道勢が全国の舞台で躍進！



9月11日、宮城県仙台市で開かれた第11回全国和牛能力共進会（宮城全共）が閉幕しました。今回は39道府県から過去最多となる513頭が出品され性別や月齢によって1～9部門に分類され審査を受けました。

北海道勢は6月に音更町で行われた北海道代表牛を決める最終選抜会にて8区分に23頭を選抜し出品、その内6区分13頭が最高位の優等賞を獲得しました。

母・娘・孫娘の3世代の繁殖牛の改良成果を示す6区『高等登録群』に出品した鈴金地区の佐藤弘一さんは全国から集まった



17組がしのぎを削るなか優等賞4席（出場部門中全国4位）を獲得しました。

また、生後17～20ヶ月齢未満の雌牛が出場する3区『若雌の2』に出品した白石地区の木島隆浩さんは1等賞8席を獲得。全国の高い壁が立ち上がりましたが、次回大会に向けて今後のこの若い雌牛の改良に期待がかかります。

今大会では北海道が初めて団体賞を受賞し、北海道の和牛産地としての実力を他府県に示しました。次回の鹿児島全共での更なる活躍に期待しましょう。

今金勢 〈北海道ホルスタインナショナルショー〉で健闘！



9月23・24日、北海道ホルスタイン農協主催の「北海道ホルスタインナショナルショー」が安平町早来の北海道ホルスタイン共進会場で開催され全道各地から代表牛が集まり乳牛として資質を競いました。

当町からは計7頭の牛が出陳されましたが、7月に行われた今金町畜産共進会にて乳用牛経産部門でグラントチャンピオンとなった、「インマヌエル アットウッド エアロスター」（出陳者 山崎良介さん）が第9部ジュニア2歳クラスで1等賞4席を獲得し、優秀な成績を収め、健闘しました。

平成29年産新米 収穫・初出荷開始！



9月10日、町内のトップを切って今金町稲作部会長の吉本辰也さん（鈴岡地区）が『ゆめぴりか』の収穫をスタートさせました。

8月の開花期の天候不順・低温の影響による減収が心配されましたが、登熟遅れが見られるものの、檜山の作況指数99と、収量はほぼ平年並みの見方です。

同月22日からはライスターミナルへの出荷が始まり、午前10時から29年産米の初出荷を祝うセレモニーが行われ出荷一番乗りとなった吉本辰也さんと遠藤忠行さん（八鈴地区）に記念品が手渡されました。セレモニーには外崎秀人町長・小田島親守組合長を始め多くの関係者が駆けつけ今年も無事出荷を迎えた喜びを分かち合いました。

秋馬鈴薯 共選開始！



9月14日、馬鈴薯共同選果場にて秋馬鈴薯の選別作業が始まりました。8月のやませによる不安定な天候の影響が心配されていましたが、やや小玉傾向ながら非常に良い品質・形状で食味も良好です。初選果の開始前には組合長からの訓示、選別基準を確認する目揃え会が行われました。今年もホクホクした食感で甘みのある「今金男しゃく」を是非ご賞味下さい。

軟白長ネギ振興会 圃場視察を実施



9月11日、今金町軟白長ネギ振興会の育苗部において町内の圃場巡回が行われました。この巡回は、今年試験的に行っているチェーンポットを利用した育苗した苗を簡易移植機にて定植した圃場の生育を確認するために行ったものです。

簡易移植器による定植は慣行で行っているマルチシートによる被覆が出来ないため、地温の確保や雑草対策に不安があります。時間と人手がかかる定植作業の大幅な負担低減になるため、この新技術の導入が期待されています。

活動レポート

青年部のロゴマークが決定しました！



ロゴマーク制作の目的について…

ロゴマークを使用したグッズなどを通じて青年部盟友の意識統一をはかり、日々のＪＡ青年部の組織活動や各世代への周知、消費者との連携活動、地域イベント等、さまざまな場面でＪＡ青年部組織及びその活動を活性化させていくことを目的とする。

青年部のＰＲ事業の一環として、ロゴマークの制作を役員会で決定し、ＰＲ事業プロジェクトチームにおいて部員がインターネットを活用し、全国のデザイナーに募集をかけ、５４個ものデザインが集まりその中から選定されました！

選定は部員全員による投票を行い、獲得票数の多いものをピックアップし、役員会で最終選考を行い決定しました。選定にあたり、一番こだわったのが「若者らしさ」で、このデザインには若者らしいオシャレ感、肉牛、牛乳、米、野菜や作物の芽吹きなどが表現されており、今金町農業の農産物全般をカバーしている事から決まりました。

今後はこのロゴマークを使用し、ノベルティーグッズなどを制作して、今金町農業とＪＡ今金町青年部のＰＲツールとして活用していきます。

檜山農業改良普及センター 檜山北部支所より

営農情報 10月号

今後の農作物管理	
水稲	水稲（遅7日） 5月高温、6月低温、7月高温、8月低温（ヤマセ）、9月低温で気温変動の大きい年となりました。出穂前までは挽回可能な遅れであり開花も順調と思われたが、8月中旬には“ヤマセ”が続き、遅い品種では籾の褐変症状が目立ち不稔がやや多くなった。登熟期間全般に低温で経過し、生育は7日程度の遅れで成熟期は9月下旬となった。9/18の台風18号の通過によりなびき・倒伏が多く見られた。・・・影響は調査中。 ・・・来年に向けて ○先ず、ほ場の乾燥化を促しましょう。 収穫作業で傷んだほ場の枕地や轍（わだち）の表面水は溝切りを行い、ほ場外に排水しましょう。ほ場が乾燥している状態で心土破砕を施工し透水性を高めましょう。 ○次に、稲わらの処理です。 “わら焼き”も許されない時代ですので、（できるだけ）秋鋤込みを検討して下さい。収穫後早めに鋤込み、腐熟を促すことがポイントです。尚、鋤込み場合はスタブルカルチなどによる“粗耕起”とします。ロータリ耕は水はけを悪くしますので避ける。 ○畦畔の補修も忘れずに ○水田の土壌診断実施を pHや燐酸及び塩基（石灰・苦土・加里）の他、ケイ酸や培養窒素の診断を行い施肥改善（土改材含む）に繋げましょう。 燐酸過多⇒燐酸減肥の可能性を確認しましょう。
	牧草 飼料用とうもろこし（遅5日） ○貯蔵粗飼料の把握 粗飼料確保量の点検、粗飼料分析を実施しましょう。 倒伏したとうもろこしサイレージは発酵品質を確認し、腐敗した部分を取り除き変敗した飼料を給与しないように注意する。また、カビ毒に汚染されている可能性もあるので、乳牛の状況（軟便、透明の鼻汁、乳質の悪化など）を確認しながら給与量の制限などの対応を行う。状況に応じてカビ毒吸着剤の使用を検討してください。 ○石灰質資材の施用 草地は播種後年数が経つに従い、土壌の酸性化が進み、牧草の量が低下します。酸性化を防ぐために石灰質肥料を施用しましょう。施用の目安としては、2～3年毎に炭カル 40kg～60kg 程度を表面施用しましょう。 ○土壌分析をしましょう 来年の適正施肥のため、土壌分析を行いましょう。計画的に毎年、何筆か調査し、植生改善のための施肥について検討しましょう。 維持草地：土壌の表面から5cmを10カ所程度採土 更新予定草地：深さ15cmで5カ所程度採土 飼料用とうもろこし：深さ30cmで5カ所程度採土 放牧管理 ○放牧地の草量が急激に低下するため、草勢を見極めながら牧区面積の拡大や滞牧時間の調整を行う。また、放牧地での採食量を採食行動、ルーメンの充満度、乳量、乳成分の変動等で推測し、不足する乾物量はサイレージや乾草を併給して充足させる。ションの回復を図りましょう。 ○公共牧場から退牧した牛は、一旦、放牧地やパドックで飼養して急激な環境変化を避け、十分な観察を行いながら徐々に舎飼いに移行する。また、伝染性の皮膚病などが認められる牛は、完治するまで別飼いをしましょう。

今後の農作物管理	
小麦	秋まき小麦 ○は種について 極端な遅まきは減収要因になるため、まだ終わっていない場合は播種量を増量し、早急には種するか春まき小麦の翌春は種を検討しましょう。 ○雪腐病の防除を行いましょう 融雪の遅いほ場や滞水しやすいほ場では、特に雪腐病の発生が懸念されます。 越冬前（根雪前）の防除や翌春の融雪剤散布等を実施しましょう。 雪腐病防除の薬剤は防除暦などを参考にして下さい。
	大豆（+5日） ○天気を考慮し適期収穫を！ ほ場の成熟期、子実水分を確認し、収穫前には汚粒防止のため、わい化病株や雑草を抜き取りましょう。「ゆめのつる」は割れが発生する場合がありますので、特に乾燥条件に注意しましょう。 ＜コンバイン収穫の目安＞ 子実水分 20%以下、茎水分 40%以下。 汚粒防止のため、収穫作業は晴天の日中に行う。 豆類 ダイズシストセンチュウの被害が発生したほ場では、次の豆類作付までの間隔をあける（大豆と小豆の連作も避けましょう）、クローバ類や抵抗性品種を導入するなど、センチュウ密度を減ら対策を検討しましょう。抵抗性品種でもセンチュウが発生している場合は、関係機関にご相談下さい。
てんさい	てんさい（遅3日） ○集荷時期にあわせて、計画的に収穫しましょう。 ほ場が過湿状態で収穫を行うと、土砂の混入が多くなるので注意しましょう。 ○次年度に向けたほ場づくり 茎葉は、収穫後できるだけ早くすき込みましょう。茎葉をすき込むことにより、次年度作物で減肥することが可能となります。
	○次年度の作付に向けて、土壌診断を行いましょう 収穫が終わったほ場は、土壌（15～20cm）を採取しましょう。 ○pHの改善 作物の生育不良などは土壌の酸性化が原因の場合があります。土壌診断値に基づき、秋のうちに炭カルなどで酸度矯正を行いましょう。 ○適正な施肥 ほ場における養分の蓄積状態とバランスを知り、作物にとって適正な養分状態に調整することが大切です。 堆肥を定期的に投入しているほ場は、加里過剰になっている場合があります。加里成分を抑えた肥料を施用し効率的な施肥を計画しましょう。
畑作物共通	ブロッコリー 気温が低下すると「黒腐病」の発生が多くなるので、「コサイド3000」等で予防的に防除を行いましょう。「黒腐病」にかかると、下葉の葉縁がV字に黄変し、蔓延すると花蕾にも症状が拡大します。特に、10月中旬～下旬収穫の作型で発生しやすいので注意しましょう。
	だいこん・かぶ 気温が下がる10月は、「白さび病」（ワッカ症）の発生に注意が必要です。農業の使用時期に注意し、適正に防除を行いましょう。 ミニトマト 気温が下がると、着色が遅くなるとともに、「裂果」の発生が増えます。土壌水分の急変や、ハウス内の過湿（特に早朝）が発生を助長します。 明け方のハウス内は過湿状態になっています。気温が低くても、朝は毎日必ずハウスを開けて「モヤ抜き」をしてください。除湿した後で、日中の温度管理（20～25℃）を行いましょう。 草勢が落ちると「うどん

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

【1万ダウンロード突破】

JAグループ北海道が取り組む「サポーターづくり」の一環として制作した、スマートフォンアプリ「JA2MP（ジエイエイジャンプ）」のダウンロード開始から約1年が経過しました。



各地でのPR活動を通じて皆さまにダウンロードして頂いた結果として、平成29年8月に、1万ダウンロードを突破しました。

今後も、魅力ある新鮮かつタイムリーな農畜産物情報を発信するため、アプリのコンテンツの充実と消費者の皆さまへのPRに取り組んで参ります。



JA北海道信連

JAバンクでは、青少年の育成支援とスポーツ応援を目的として、平成21年度より全日本大学駅伝対校選手権大会へ特別協賛を行っております。

8月に札幌市のモエリ沼公園で行われた北海道地区予選会には、地元JA・本会・農林中央金庫の職員が大会のサポーター役として参加し、道産食材を使用した「おにぎり」「飲むヨーグルト」及び「JAバンクオリジナルタオル」を選手達へ差入れしました。



ホクレン

ホクレン訓子府実証農場（訓子府町）では、来年4月から1年間、農場での酪農研修を通じて就業に必要な知識や技能を習得する「平成30年度酪農研修生」を募集しています。

研修は乳牛飼養管理、搾乳、子牛哺乳育成、自給飼料栽培管理などの実践研修を中心に、酪農畜産に関する基礎知識を習得するための座学研修も実施します。詳しい内容については、ホクレン訓子府実証農場業務課（☎0157-47-2191 担当：佐々木）まで。



↑ 訓子府実証農場HPはこちら



JA共済連北海道

秋の全国交通安全運動（9月21日～）にあわせて、道警・交通安全協会と連携し、道内各地で本会職員による街頭啓発活動を展開します。交通安全旗や横断幕を掲げてドライバーと歩行者へ安全運転や交通ルールの遵守を呼びかけます。（札幌地区は9月29日実施予定）JA共済連北海道は交通安全啓発活動を通じて安心して暮らせる地域づくりに役職員一同取り組んでまいります。



JA北海道厚生連

旭川厚生病院では、土曜ドックを実施しています。男性を対象としており、各種オプション検査も可能です。随時予約を受け付けております。（☎0166-33-7171）

札幌厚生病院では毎月第2土曜日に、脾臓・胆のうドックを実施しております。（☎011-251-5713）

また、帯広厚生病院では、オプション検査の「脳ドック」を毎月第2土曜日に実施しております。（☎0155-24-4161）いずれも完全予約制。



DOWNLOAD START!



JOYFUL

楽しくて

ATTRACTIVE

魅力ある

MEETING

出会いの

PLACE

場所へ!



JAグループ北海道から、
食と農につながる
スマホアプリが新登場!

[ジェイエイ・ジャンプ]

集めて楽しい
ポイント
ラリーも!

直売所やイベント会場など、
JAグループ北海道の関連施設で
チェックインポイントを集めて、
豪華景品が当たる
プレゼント抽選会に応募しよう。

チェックイン
スポット
ラリー

オススメ
農畜産物
情報

今月の
特集

お知らせ

JA²M P